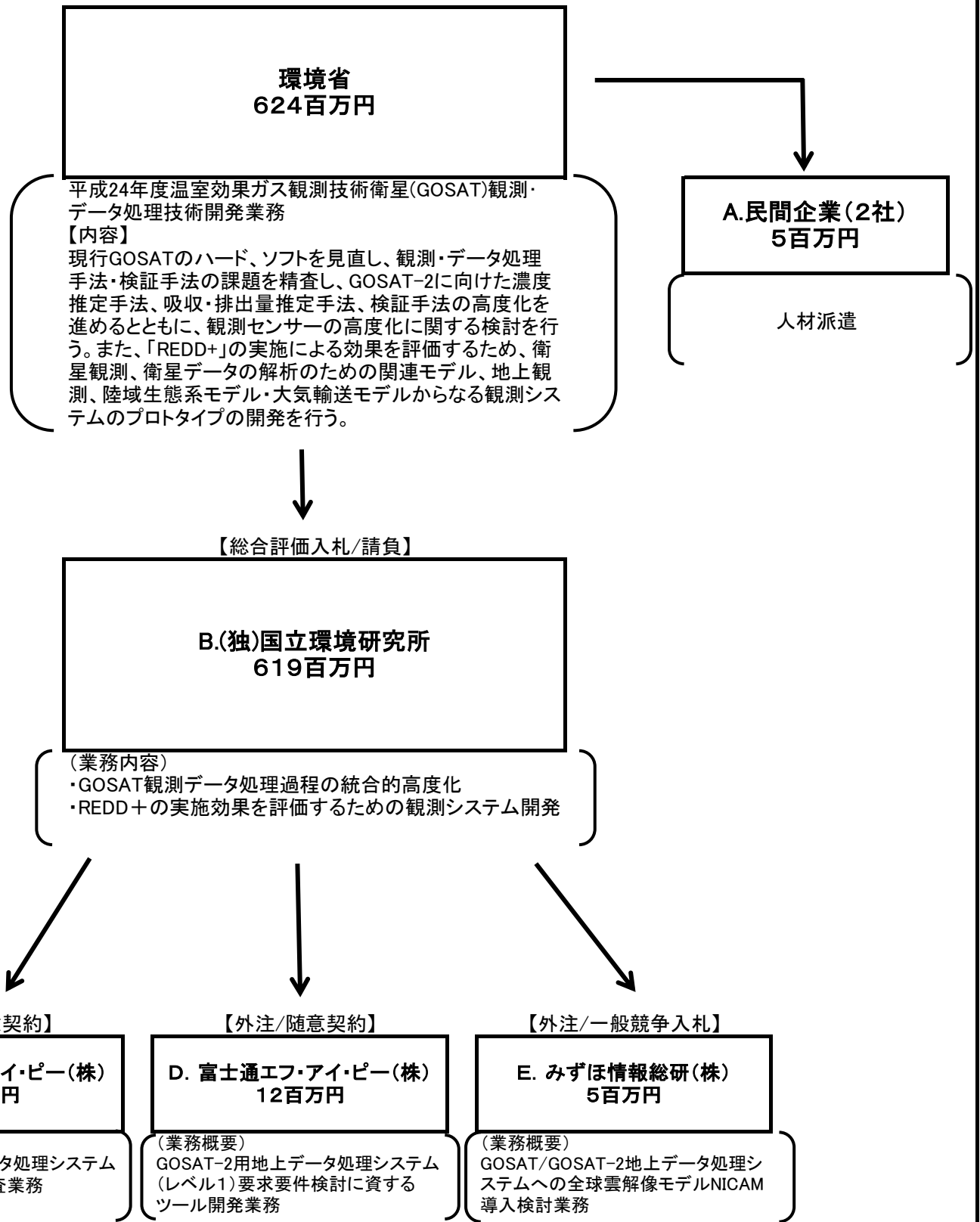


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	いぶき (GOSAT) 観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備		担当部局庁	地球環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～平成29年度		担当課室	総務課研究調査室		室長 辻原 浩	
会計区分	一般会計		政策・施策名	9. 環境政策の基盤整備 9-3 環境問題に関する調査・研究・技術開発			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	京都議定書目標達成計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	いぶき後継機の開発のうち、センサー開発及び衛星データの処理・検証方法の高度化開発を分担し、後継機全体として、①地球の炭素循環解明に役立て、気候変動予測の信頼性を高める、②地球システムの炭素循環の変化を検出し、国際的な温暖化対策を促す、③主要排出国の二酸化炭素総排出量を宇宙から客観的に検証することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> いぶき現行機の運用から得られた知見・課題を反映した後継機センサー全体の概念設計と、観測センサー干渉計機構部の試作試験の実施を行う。 いぶき後継機では現行機に比べて処理すべき観測データが大幅に増えると予想されており、その効率的かつ効果的な処理方法を検討するとともに、地上観測、陸域生態系モデル・大気輸送モデルからなる観測システムのプロトタイプの開発を行う。 いぶきによる観測データ等を検証するための比較データは、航空機観測データが最も有効であることから、民間航空機にセンサーを設置し検証のためのデータを取得する。 						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算		1,352	1,315	1,503	
		補正予算		1,900	-		
		繰越し等		△ 2,536	2,536		
	計		716	3,851	1,503		
	執行額			624			
執行率 (%)			87%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	アウトカムは打ち上げ後に、気候変動予測への貢献、炭素循環変化の検出及び主要排出国の総排出量推定に関し、指標を設定。	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	打ち上げまでは、センサー試作、データ処理アルゴリズム開発、打ち上げを定性的なアウトプット指標として設定する。	活動実績 (当初見込み)		-	-	後継機のセンサー仕様の検討 (-)	引き続き後継機のセンサー仕様について検討 (-)
単位当たりコスト	- (円 / -)		算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	公害調査費	1,315	1,503	いぶき後継機の人工衛星バスの開発による増。 「新しい日本のための優先課題推進枠」1,503			
	計	1,315	1,503				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	いぶき及びその後継機による観測は、全球的な温室効果ガスの分布と挙動を明らかにするものであり、国民の関心の高い地球温暖化について、科学的知見の向上と今後の対策に関する政策立案等に大きく貢献するものであることから、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	本事業の実施に当たっては、専門的な技術・知見が必要であると同時に、請負者によって様々な実施方法が可能であると想定されたため、総合評価方式及び参加者確認公募で支出先を選定(予定)。また、開発に際しては必要な機能について事前に熟考し、費用の削減を心がけている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	後継機打ち上げまでの長期的計画の中で今年度達成すべき目標を設定し事業を開始したところ。後継機の運用によって得られる予定の成果の活用も含めて検討を進めている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	「いぶき」後継機については文部科学省と環境省が協力して行い、 ・環境省は、既存の技術を活用できるもの及び環境省の行政ニーズ(CO2等の観測)による研究開発要素があるものを担当。 ・文部科学省は、他の地球観測衛星に活用できる基盤的技術における研究開発要素があるものを担当。		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	250	地球観測衛星システムの開発に必要な経費	文部科学省研究開発局			
点検結果	後継機打ち上げまでの長期的計画の中で今年度達成すべき目標を設定したところであり、今後更に事業の進捗をはかる定性的なアウトプット指標を設定して事業を行っていく。					
外部有識者の所見						
特段の意見なし						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	文科省との役割分担を明確にし、必要経費の効率化に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	文科省と緊密に連携し、経費縮減に努めていく。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	新24-003	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位: 百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.キャプラン(株)			B.(独)国立環境研究所		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	雑役務費	派遣職員1名	3	備品	小型炭素用加速器質量分析を構成する部 品、GOSAT-2件等用大規模記録装置 他	327
				人件費	特別研究員、高度技能専門員等	57
				消耗品費	配管、継手、バルブ、標準ガス、ソフトウエ ア、データ、センサー、観測部材 等	42
				雑役務費	大気試料の放射性炭素同位体比分析業 務、ポイントサンプリング法に基づく森林調 査	34
				外注費	富士通エフ・アイ・ピー(株)、みずほ情報総 研(株)	26
				旅費	国内旅費、外国旅費、外国人招へい旅費	12
				賃金	アシスタントスタッフ	10
				その他	諸謝金、委員等旅費、通信運搬費、印刷製 本費、借料及び損料、共通経費	9
			一般管理費等	一般管理費、消費税	103	
計		3	計	※端数処理の関係により、各費目の合計額 と一致しない	619	
	C.富士通エフ・アイ・ピー(株)			D.富士通エフ・アイ・ピー(株)		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	雑役務費	GOSAT-2用地上データ処理システム(レベ ル2)要求要件調査業務	11	雑役務費	GOSAT-2用地上データ処理システム(レベ ル1)要求要件検討に資するツール開発業 務	12
	計		11	計		12
	E.みずほ情報総研(株)					
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	雑役務費	GOSAT/GOSAT-2地上データ処理システム への全球雲解像モデルNICAM導入検討業 務	5			
	計		5	計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)キャプラン	人材派遣	3	1	92%
2	(株)ケー・デー・シー	人材派遣	2	1	94%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	・GOSAT観測データ処理過程の統合的高度化 ・REDD+の実施効果を評価するための観測システム開発	619	1	90%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通エフ・アイ・ピー(株)	GOSAT-2用地上データ処理システム(レベル2)要求要件調査業務	11	-	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通エフ・アイ・ピー(株)	GOSAT-2用地上データ処理システム(レベル1)要求要件検討に資する ツール開発業務	12	-	-

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みずほ情報総研(株)	GOSAT/GOSAT-2地上データ処理システムへの全球雲解像モデルNICAM 導入検討業務	5	-	-